
エコアクション21

2018年度 環境経営レポート

2018年4月～2019年3月



2019年6月28日 作成



目次

1. 環境方針	3
2. 事業活動の概要	4
3. 環境目標及び環境活動の内容	5～7
4. 環境負担の実績及び環境活動取組評価	8
5. 次年度への取組み内容	9
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	9
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	9

1.環境方針

基本理念

集塵装置株式会社は、”製品やサービスを通じて、お客様にクリーンな環境を提供し、選ばれる企業を目指す”を経営理念に掲げております。地球温暖化など深刻化する環境破壊が人類の最重要課題であると認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減に努力します。

基本方針

集塵装置株式会社は、製造・販売・保守に関わる全ての活動、製品、及びサービスの環境影響を低減するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進していきます。

- 1 省エネ・省資源型装置販売の開発・改良・提案・販売に努めます
- 2 環境関連法規を遵守します
- 3 資源・エネルギー（電気、化石燃料、水、紙）の削減に取り組みます
- 4 廃棄物の排出抑制に努めます
- 5 グリーン購入の推進に努めます
- 6 これらを全ての社員に周知し、環境意識の向上をはかります

作成日：2013年8月15日
集塵装置株式会社
代表取締役社長 丸山宏樹

2.事業活動の概要

(1)事業所名及び代表者氏名

集塵装置株式会社

代表取締役社長 丸山 宏樹

(2)所在地

〒175-0081 東京都板橋区新河岸2丁目6番8号

(3)環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 代表取締役 丸山 宏樹

エコアクション21担当者 総務部 杉中 優美 渋谷 佳代

連絡先 電話 03-3938-3711 FAX 03-3938-3716

(4)事業内容

公害防止装置、空気輸送装置の設計・製造・販売・保守

建設業許可番号 東京都知事許可(特-22) 第29193号

東京都知事許可(般-22) 第29193号

古物商許可番号 東京都公安委員会許可 第305591208074号

(5)事業の規模

2018年度売上高 5億円

従業員数 25名

資本金 70,000,000円

3.環境目標及び環境活動の内容

(1)中期環境実績・目標(2018年度～2020年度)

※中期計画の二酸化炭素排出係数は、2017年度を基準としています

作成日	承認	作成者
2019年5月17日	丸山宏樹	丸山宏樹

項目	単位	2017年度実績(基準値)	2018年度目標		2018年度実績		2019年度目標		2020年度目標	
		2017/4～2018/3	2018/4～2019/3		2018/4～2019/3		2019/4～2020/3		2020/4～2021/3	
二酸化炭素排出量	kg-CO2	71,188	基準値比	-0.26%	基準値比	6.05%	基準値比	-0.97%	基準値比	-1.67%
				71,000		75,492		70,500		70,000
電気使用量	kWh	60,576	基準値比	-0.95%	基準値比	6.63%	基準値比	-1.78%	基準値比	-2.60%
				60,000		64,593		59,500		59,000
ガソリン使用量	ℓ	9,620.0	基準値比	-0.21%	基準値比	17.08%	基準値比	-0.73%	基準値比	-1.25%
				9,600.0		11,263.0		9,550.0		9,500.0
軽油使用量	ℓ	5,775.2	基準値比	-0.44%	基準値比	-14.87%	基準値比	-1.30%	基準値比	-2.17%
				5,750.0		4,916.5		5,700.0		5,650.0
灯油使用量	ℓ	874	基準値比	-0.46%	基準値比	45.19%	基準値比	-1.03%	基準値比	-1.60%
				870		1,269		865		860
ガス使用量(都市ガス)	Nm ³	584	基準値比	-0.68%	基準値比	17.98%	基準値比	-1.54%	基準値比	-2.40%
				580		689		575		570
総排水使用量	m ³	431	基準値比	-0.23%	基準値比	10.21%	基準値比	-1.39%	基準値比	-2.55%
				430		475		425		420
化学物質使用量	kg	86.4	基準値比	-0.46%	基準値比	5.21%	基準値比	-1.04%	基準値比	-1.62%
				86.0		90.9		85.5		85.0
産業廃棄物排出量(リサイクル含)	t	9.2	基準値比	-2.17%	基準値比	115.22%	基準値比	-2.17%	基準値比	-7.61%
				9.0		19.8		9.0		8.5
一般廃棄物排出量	t	1.12	基準値比	-1.79%	基準値比	8.04%	基準値比	-1.79%	基準値比	-10.71%
				1.10		1.21		1.10		1.00
フィルター再生利用の受注件数	件	30	基準値比	0.00%	基準値比	-36.67%	基準値比	16.67%	基準値比	33.33%
				30		19		35		40
紙の使用量	枚	121,000	基準値比	-0.83%	基準値比	-5.99%	基準値比	-0.83%	基準値比	-4.96%
				120,000		113,750		120,000		115,000
グリーン購入金額割合	%	51.6%	基準値比	-2.13%	基準値比	-17.64%	基準値比	-2.13%	基準値比	-3.10%
				50.5%		42.5%		50.5%		50.0%

◆二酸化炭素排出係数(電気): 0.50kg-CO2/kWh(2017年度)、0.474kg-CO2/kWh(2018年度上期・東京電力)、0.516kg-CO2/kWh(2018年度下期・グローバルエンジ)

(2) 環境活動の内容

1. 二酸化炭素排出量(電気)の削減

- 昼食時の消灯を徹底する
- 昼食時のエアコンオフを徹底する
- 寒さ対策として、温風機を設置する

2. 二酸化炭素排出量(ガソリン)の削減

- アイドリングストップを徹底する(車内掲示、教育)
- 不要な車載荷物を降ろすことを指導

3. 二酸化炭素排出量(軽油)の削減

- アイドリングストップを徹底する(車内掲示、教育)
- 不要な車載荷物を降ろすことを指導

4. 二酸化炭素排出量(灯油)の削減

- ウォームビズを推奨する
- ストーブをつけっぱなしにしない

5. ガス消費量(都市ガス)の削減

- 夏場、給湯器の使用を控える
- 風呂場の給湯設定温度を低くする

6. 総排水量の削減

- 5月～10月の使用をシャワーにする(入浴は控える)

7. 化学物質使用量の削減

- 在庫の見直しによる購入量の抑制

8. 産業廃棄物排出量の削減

- リサイクル排出量(端材等)の再々利用する
- 収集場の廃棄物(一般・産廃)区分をはっきりとする

9.一般廃棄物排出量の削減

- アスクル梱包材の業者引き取りを継続する
- 使用済みカップ麺容器を圧縮し、廃棄をおこなう

10.省エネ・省資源型装置の開発・改良提案・販売

- 集塵フィルターの再生利用の促進活動

11.紙の使用量の削減

- PCやコピー等の印刷は、両面又は縮小印刷等を用いる
- コピー機入れ替えにより、印刷機能増加
- 購買業務の見直しで社内発注書のペーパーレス化
- 顧客への提出資料(取扱説明書・図面等)の紙からCDへ

12.グリーン購入の推進

- 一般購入品のグリーン購入への切り替えを推進する



～活動内容～



地域貢献活動



社用車は低排出ガス車を使用しています。



月に一度、会社周辺の清掃をしています。

室内温度の管理



エコドライブの徹底



電力消費削減の啓蒙を図っています。

二酸化炭素排出量の削減



4.環境負荷の実績及び環境活動取組評価

項目	単位	基準年度	期間目標	期間実績	評価	
		2017.4～2018.3	2018.4～2019.3			
二酸化炭素排出量	kg-CO2	71,188	71,000	75,492	期間目標、昨年度実績と比較し、排出量が増加した。電気、車の利用について再考していきたい。	
内 訳	電気使用量	kwh	60,576	60,000	64,593	更なる無駄がないか、検討する
	ガソリン使用量	ℓ	9,620.0	9,600.0	11,263.0	各人の意識は向上したが、業務の使用のため、増加してしまった。
	軽油使用量	ℓ	5,775.2	5,750.0	4,916.5	各人の意識は向上し、目標達成が出来た。3月に1台増えたため、来年は影響増が考えられる。
	灯油使用量	ℓ	874	870	1,269	気候や工場稼働の影響もあるので、目標設定が難しい側面もある。
	ガス使用量 (都市ガス)	Nm ³	584	580	689	浴槽の広さ見直すことも検討課題とし、消費量を削減したい。
総排水使用量	m ³	431	430	475	お風呂場の改造によって、排水量の削減に努めたい。	
化学物質使用量	kg	86.4	86.0	90.9	若干であるが、未達となった。	
産業廃棄物排出量 (リサイクル含)	t	9.2	9.0	19.8	生産量の増加により、目標達成できなかった。	
一般廃棄物排出量	t	1.12	1.10	1.21	今後も排出量の安定化に努めたい。	
フィルター再生利用の 受注件数	件	30	30	19	再生フィルターの広報活動を促進していく。	
紙の使用量	kg	121,000	120,000	113,750	設計業務で顧客向け取扱い説明書を紙からCDに変更した影響が出た。	
グリーン購入金額割合	件	51.6%	50.5%	42.5%	引き続き、購入におけるグリーン購入の意識を継続しなければならない。	

5. 次年度への取組み内容

(第3項(2)環境活動の内容1.~12.)の取組みを継続する。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

- (1)環境関連法規の遵守状況を自らチェックし、違反はありません。
(主な環境法規等： 廃掃法・消防法・東京都環境確保条例)
- (2)関係当局からの違反の指摘は、過去3年間ありません。
- (3)訴訟も、過去3年間ありません。

7.代表者による全体評価と見直しの結果

2013年4月から開始した環境活動も、7年目に入りました。

今年度は基準値変更による目標未達が多くございましたが、また再度数値目標に向けて、前進して参りたいと存じます。

継続した課題として、電気使用量の削減があり、今後LED化も検討しなければと考えております。

集塵フィルターの再生利用も今後推進し、件数を増やして参りたいと存じます。

今後も上記課題を中心に改善を進め、二酸化炭素排出量削減に努める所存です。